

産 業 厚 生 常 任 委 員 会 資 料

平成27年5月20日

地 域 創 造 部

目 次

商工観光課

滝野交流保養館源泉配管工事の事業計画変更について…………… 1～5

加東市地域経済活性化（第2ステップ：平成25、26年度）

実施計画・実践報告書について…………… 6～18

その他

滝野交流保養館源泉配管工事の事業計画変更について

1 これまでの経緯

滝野交流保養館は、合併以前の平成12年に旧滝野町が建設して開業し、合併後も加東市ふるさと振興協会に施設運営を委託し営業してきました。

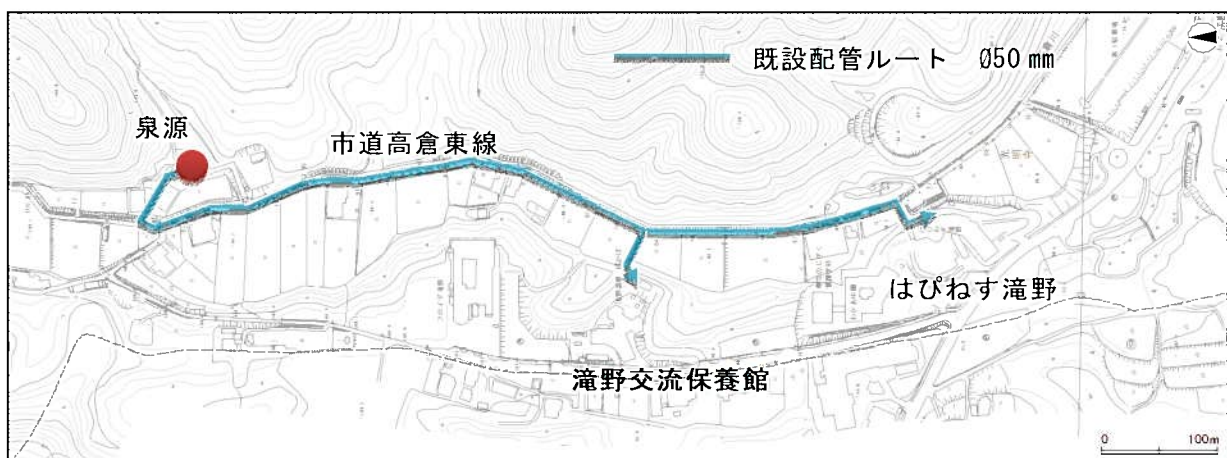
交流保養館の北に位置する山すそで源泉を汲み上げてから、市道高倉東線の地下に埋設した配水管によって交流保養館へ送水し、交流保養館の南に位置する「はびねす滝野」まで配管を延長して、源泉水を供給しています。

施設供用開始からの経年変化により、源泉を汲み上げている揚水管内に酸化物（さび等）が付着して揚湯量が減少したため、平成24年度に揚水管の二重管化とケーシング管の洗浄工事を実施することにより揚湯量を回復させましたが、工事を進める段階で、源泉の下部から湧出する当初からのアルカリ単純泉が、上部から湧出する塩泉と混合して温泉の泉質が変化していることが判明しました。

泉質の異なる2種類の源泉が混合すると、塩分濃度が上昇して温泉の効能などへも影響を与えるだけでなく、化学反応により炭酸カルシウムが生成され、配管内面にその結晶が付着することにより、配管の閉塞が懸念されたことから、汲み上げた源泉を、別途地下から汲み上げた真水で希釈することで、炭酸カルシウム付着対策を講じてきました。

しかしながら、平成26年度には、炭酸カルシウム結晶の付着により、配水管の閉塞化が進行している状況が判明したことから、交流保養館の安定的な運営を継続させるため、閉塞の進んでいる箇所の配管の取換工事（指定管理者による修繕）を実施するとともに、平成27年度当初予算に、源泉配水管取替工事に必要な経費を計上させていただきました。

■現在の配管ルート



2 平成27年度当初予算の概要

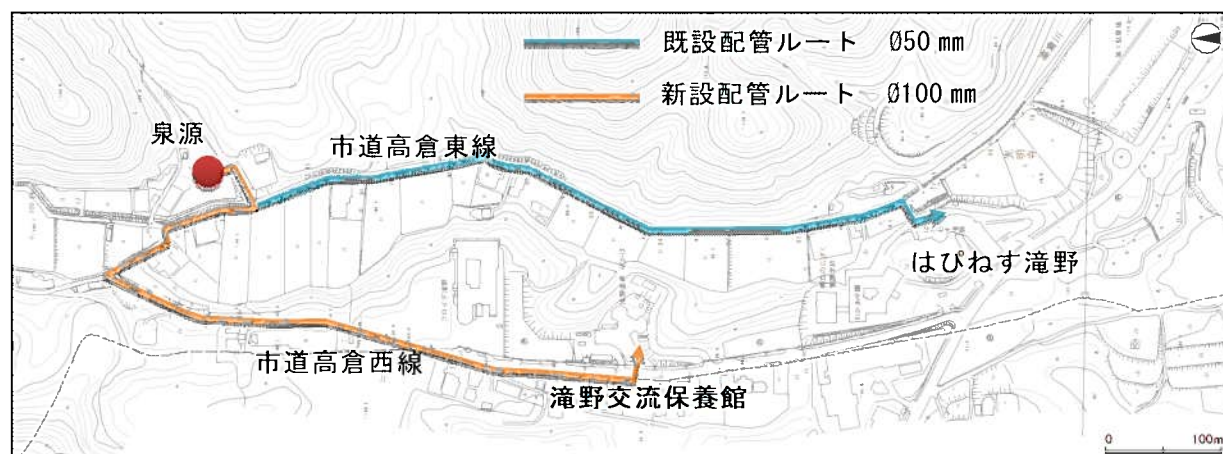
炭酸カルシウムの結晶が付着しやすい揚湯ポンプ周辺の配管は、平成26年度の修繕により取り換えています。ポンプから供給先施設までの配水管は、管の閉塞がポンプ周辺ほど進んでいないものの、直径が50mmと管が細く、今後、配水管の閉塞が進行することが懸念されることから、当初予算では、直径の太い100mmの配水管に取り換えることにしましたが、既設管が埋設されている市道高倉東線の幅員が4.0m未満と狭小なうえ、上下水道の埋設管が幅横しており、工事が困難なことから、既設管の入れ替えではなく、市道高倉西線(W=10m)へ埋設ルートを変更して交流保養館へ配水する工事計画とし、交流保養館までの配管工事(φ100mmの塩ビ管L=775mの埋設と舗装復旧工事)及び源泉送水ポンプ配管修繕工事に要する費用を積算し、工事請負費32,299千円を計上させていただきました。

「はびねす滝野」への源泉の供給は、交流保養館から「はびねす滝野」までの間の送水量が少なく、管の閉塞状況も進んでいないため、今後も、既設管を利用して継続することとしました。

■炭酸カルシウムの付着による既設管の閉塞状況（揚湯ポンプ周辺配管：修繕対応済）



■平成27年度当初予算で計画している配管ルート



3 抜本的な炭酸カルシウム付着防止対策の必要性

平成26年度の湯湯ポンプ周辺の配管修繕と平成27年度に実施する新設配管により、炭酸カルシウムの付着による配水管閉塞は対策可能と判断していましたが、平成26年度末に設置した浴場循環ろ過装置及び温泉原水槽ヒートポンプを点検したところ、熱交換器のフィルターが、使用後1か月足らずで炭酸カルシウムの付着により目詰まりしている状況が確認されました。

■ フィルターの目詰まりの状況



目詰まりの状況から、現在計画している配水管閉塞対策が不十分であり、抜本的な炭酸カルシウム付着防止対策が必要であると判断せざるを得ない状況です。

抜本的な対策を講じなければ、配水管だけでなく、循環ろ過装置や、熱交換器等の設備類内部にも炭酸カルシウムが付着し、交流保養館の安定的な運営に支障をきたす恐れが高まります。

また、新設する配水管内でも閉塞が進行した場合には、埋設管のどこで閉塞しているのか確認し、対応することが非常に困難になるため、配水管の閉塞を想定して、施設を合理的に維持管理するために、配管工事の事業計画も大きく見直す必要が生じました。

4 事業計画変更の内容

アルカリ単純泉に、塩泉が混入しないようにすることが抜本的な対策ですが、泉源が地下深くにあることと、アルカリ単純泉の泉源の上部から塩泉が湧出しており、混入を防ぐことが困難なことから、源泉水を汲み上げた段階で、配水管閉塞の原因となっている炭酸カルシウムを可能な限り除去する必要があります。

また、施設を合理的に維持管理するためには、配水管を埋設するのではなく、メンテナンスが容易な工法に見直すことも必要です。

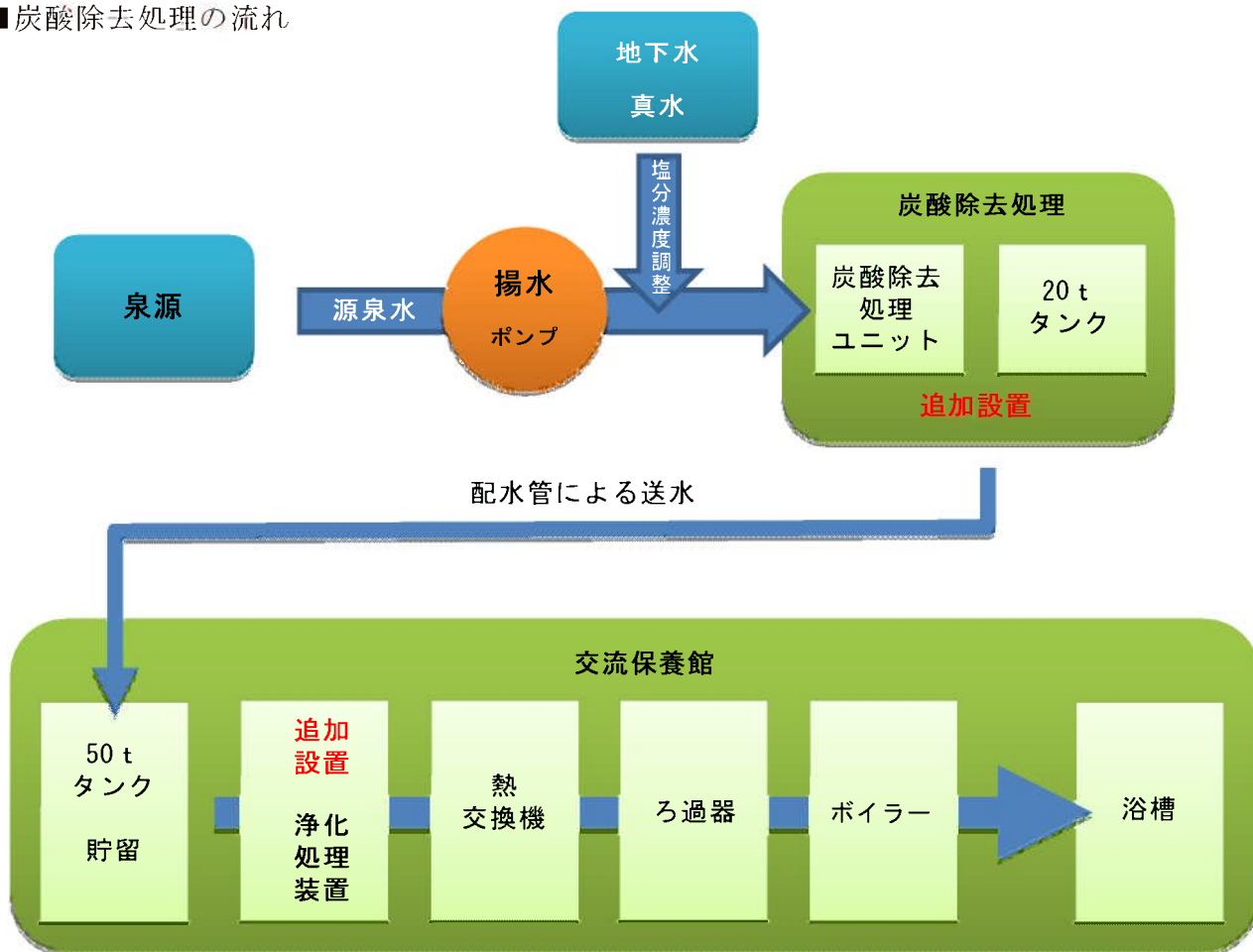
(1) 炭酸カルシウム除去対策の追加

配水管の閉塞を防止するためには、炭酸カルシウムを除去することが最も効果的であり、専門家からは、源泉を汲み上げた段階で、塩分濃度調整のための真水による補水を行ったうえで、薬品（硝酸液：人体に害なし）を注入して固形物を溶かし、エアリフト揚水工法（コンプレッサーによる吸い上げ）により付着物を除去することが有効であるとの助言を受けています。

このことから、泉源付近にタンクと炭酸除去ユニットを設置して炭酸除去処理するとともに、送水した処理水を交流保養館の熱交換器に投入する前の段階で不純物等を除去する浄化処理装置を追加設置します。

また、炭酸除去装置、浄化処理装置の施工に関しては、専門的な技術及び知識が必要となるため、工事発注に必要な実施設計委託料を追加します。

■炭酸除去処理の流れ



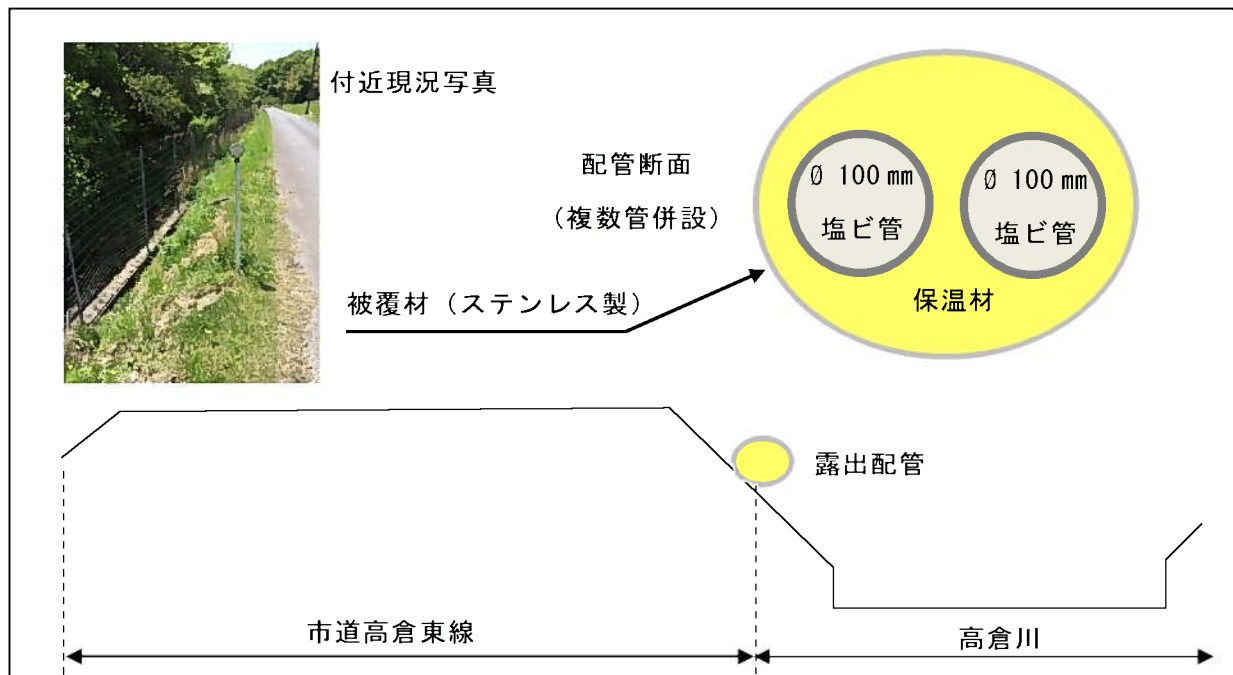
(2) 配水管敷設工法の変更

当初計画における道路への地下埋設では、配管施設を合理的に維持管理し、容易にメンテナンスすることが困難なため、管を埋設せず露出配管の方式に変更します。

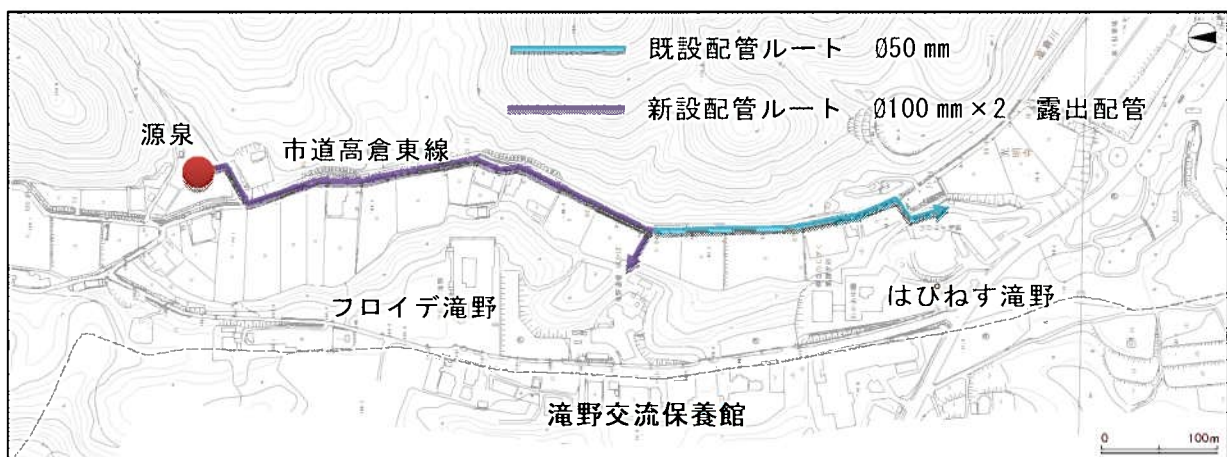
当初計画では、既設管が埋設されている市道高倉東線が、幅員狭小なうえ、上下水道の埋設管が輻輳していることで、工事が困難なことから、新設の配管ルートを計画しましたが、管を埋設しなければ、既存ルートでの敷設が可能となります。既設ルートは、市道の敷地及び隣接する高倉川（法定外公共物の水路：加東市管理）の断面に露出配管を設置可能な法面があるため、掘削工事を伴わず、工事費用を軽減させることもできる見込みです。

また、配水管に詰まりが生じた場合に、交流保養館の運営に支障をきたさないよう、切り替えて運用可能な複数管併設の方式に変更します。

■計画変更後の断面図



■計画変更後の配管ルート



(3) 予算の変更 (案)

上記の事業計画の変更に伴い、予算を次のように変更したいと考えています。

単位：千円

工事等内容	当初計画	変更計画	比較	備考
送水配管敷設替 ポンプ配管修繕	32, 299	17, 304	△14, 995	埋設管から露出配管 に変更
炭酸除去ユニット等 設置工事	0	22, 136	22, 136	計画変更により追加
実施設計委託料	0	3, 839	3, 839	計画変更により追加
合計	32, 299	43, 279	10, 980	追加補正要求額

加東市地域経済活性化

(第2ステップ:平成 25、26 年度)

実施計画・実践 報告書

平成 27 年 3 月 31 日

加東市 地域整備部 地域振興課

加東市商工会

目次

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2. 実施計画の進め方・・・・・・・・	9
3. 基本計画実施内容の役割分担・・・・・・・・	9
4. 第2ステップ実施項目と層別・・・・・・・・	11
5. 実施計画・実践 第2ステップ進捗報告・・・・・・・・	13
6. 第3ステップ(平成27～29年度)に向けて 商工会からの提言・・・・・・・・	17

1. はじめに

平成23年度に市と商工会との連携により策定した「加東市地域経済活性化基本計画（以下「基本計画」という。）」は、第2ステップの前期（平成25年）が終了し、26年度からは後期に入っています。

前期に引き続き、更なる経済の活性化に向け、今年度も重点フォロー項目として、実施計画・実践内容において優先的に推進する11項目を設定いたしました。設定した各項目については、進捗管理を効果的に行うための「四半期進捗報告書」を新たに作成し、フォロー項目の一層の推進に努めました。また、第3ステップを見据えた、大規模事業についての検討も併せ実施いたしました。

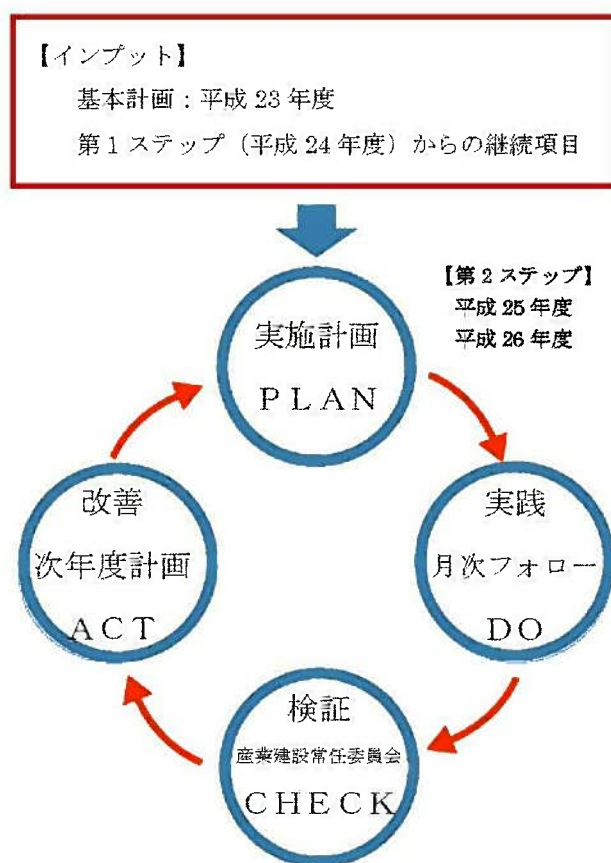
一方、国においては、地方創生により各種施策が展開されております。また、来年度合併10年目の節目を迎える加東市においても「まち・ひと・しごと創生法」に基づき「加東市版総合戦略」を策定します。

このような状況を踏まえながら、来年度は「基本計画」の最終となる第3ステップ（平成27年度～29年度）として、重点フォロー項目である企業立地の支援、市内購買力の向上支援、流入人口獲得と流出人口抑制等に取り組んで参ります。

2. 実施計画の進め方

第2ステップは、平成23年度に策定された基本計画での平成25、26年度実施内容および24年度に実施した第1ステップにおいて、実施状況・成果から継続すべきと判断した実施内容を計画・実施した。

本内容は、第2ステップの総括報告である。



3. 基本計画実施内容の役割分担

実施計画・実践に先立ち、第2ステップ実施内容及び長期計画である第3ステップにまたがる事業を精査し、実施内容の役割分担を明確とした。

分担は、行政、商工会、共同（行政＋商工会＋その他）とした。

※表1.重点施策・実施内容の役割分担を参照のこと

表1. 重点施策・実施内容の役割分担

基本方針	基本施策	シート 番号	重点施策	実施内容		第1 ステップ	第2 ステップ	第3 ステップ	分担
工業の更なる発展 を支援する	企業立地の支援	01	A	新規立地支援	現有工業団地への新規立地支援	◎	◎	◎	1 A
					本社機能を有する地元・近隣企業の移転・推進 立地するメリットの付加検討	◎	◎	2 A	
		02	B	地域内企業の育成	新たな工業団地の開発検討	◎			3 A
					技術開発支援の推進				4 B
	産業クラスターの構築	03	C	市内立地企業の情報発信支援	福利厚生支援の推進	◎	◎		5 A
					創業、経営革新、第二創業、事業承継の促進	◎			6 B
					交流の「場」提供		◎		7 C
					企業情報発信支援	◎	◎		8 C
	04	C	産業クラスター施策の企画立案	工場見学を積極的に受け入れる体制づくり・産業ツーリズムの窓口を作る	◎			9 C	
				情報発信支援の推進		◎		10 B	
				(小規模)産業クラスター計画の作成	◎			11 C	
				＜第1ステージ＞意識・信頼関係の醸成 ＜第2ステージ＞コア・ネットワーク作り ＜第3ステージ＞ネットワーク形成 ＜第4ステージ＞産業の進化・発展		◎		12 C	
商業の衰退に歯止め をかける	企業間交流と連携支援	05	A	工業団地内(間)情報交換の支援	準備期間	◎			17 A
					仕組み作り	◎			18 A
		06	B	市内企業への情報発信と情報交換	ネットワーク作り		◎		19 A
					自主運営への移行			◎	20 A
	市内購買力の向上支援	07	B	市内循環型消費システム施策の 企画立案	企業への地域情報発信		◎		21 A
					企業活動を支援する情報の提供	◎			22 C
					新たな経営者組織の設立		◎		23 B
					商工会・青年部の活性化の推進	◎			24 B
	08	A	大規模商業施設の販売力向上支援	ポイントカードの普及と推進による地域活性化	◎			25 B	
				商品券(プレミアム商品券を含む)発行の検討	◎			26 C	
				観光業での地域循環型システムの検討	◎			27 A	
				企業間情報交換による新規事業、商品開発支援			◎	28 C	
09	C	農工商連携、第6次産業の支援	大規模商業施設の周辺開発を含めた都市計画策定	◎			29 C		
			国道175、372号線の交差点活用検討		◎		30 A		
			道の駅とうじょうの強化策検討	◎			31 A		
			商店街の各商店の魅力度アップ策の推進	◎			32 B		
人口4万人を維持する	商業者の支援	10	A	山田錦のPR強化	第6次産業の推進	◎			33 C
					加東市産の山田錦PRイベントの強化推進	◎			34 A
		11	B	地域ブランド商品の開発	加東市内外への定期的な情報発信策の検討		◎		35 A
					加東市ブランド商品の認定の推進		◎		36 C
	12	A	「加東伝の助」商品の強化	商工会グルメリプロジェクトの成果活用・平成23～25年度事業	◎			37 B	
				JAPANブランド戦略の検討			◎	38 C	
				「伝の助」のブランド力強化の推進	◎			39 A	
				商品開発支援		◎		40 A	
	観光業の強化	13	A	日帰りリゾート客向けツアーの強化	販売チャネルの拡大推進	◎			41 A
					ファミリー層向けツアー開発の検討	◎			42 A観
					ゴルフ場向けツアー開発の検討			◎	43 C観
					シニア層向けツアーの開発の検討	◎			44 A観
14	A	交流人口増加施策の構築	女性向けツアーの開発の検討		◎		45 A観		
			産業ツーリズムの提案	◎			46 C観		
			日帰り温泉施設の活用推進	◎			47 A観		
			地域のイメーজ・ブランド価値向上策の検討	◎			48 A観		
人口4万人を維持する	地元雇用の確保	15	A	求職者への情報提供支援	広域連携による観光キャンペーン	◎			49 A観
					食をコンセプトとした地域活性化		◎		50 C
					地域の文化を活用した体験型観光の開発		◎		51 A観
					常連道路を軸とした広域連携		◎		52 A観
	16	B	インターンシップ制度の構築	アンテナショップを活用した地元イメージPR、マーケティングの検討	◎			53 C観	
				観光施設の魅力度アップ策の検討		◎		54 A観	
				観光協会の強化策の検討		◎		55 A観	
				就労支援室の情報発信力の強化	◎			56 B	
	17	A	自然災害の少なさ・ 「加東暮らし」の良さPR	関係機関との情報共有の強化	◎			57 C	
				市内事業所への巡回の強化	◎			58 B	
				積極的な就労支援の推進	◎			59 C	
				インターンシップ制度の構築		◎		60 B	
18	A	雇用と魅力あるまちづくりビジョンの策定 「加東暮らし」の良さPR	きつかけづくり・短期滞在型交流事業の検討		◎		61 A		
			滞在型から定住化へ		◎		62 A		
			定住化施策の展開		◎		63 A		
			就職・就労支援		◎		64 C		
19	A	「教育のまち」ブランドづくり企業立案	雇用と魅力あるまちづくりビジョン			◎	65 A		
			コンソーシアムの設立	◎			66 A		
			地域内再投資力を高めるソーシャルビジネス支援の取り組み(場の提供)の推進	◎			67 C		
			青年部の組織強化と情報発信力強化	◎			68 B		
20	C	ソーシャルビジネス立上げ支援	新たな若手リーダーの養成推進	◎			69 B		
			既存事業再編・商工会の既存事業の再編(新規事業、増強事業、縮小事業、撤退事業)の推進	◎			70 B		
			個別企業支援・対処療法から体質改善へ(金融、税務支援から経営革新・第二創業へ)の推進	◎			71 B		
			地域産業再編支援・従来から地域に存在する事業の集積による市場競争力の強化)の推進	◎			72 B		
21	B	中核リーダーの育成支援	ネットワークの高度化・有機化の推進		◎		73 C		
			インキュベーター・シンクタンク機能の発揮			◎	74 C		
			地域資源の洗い出し	◎			75 A		
			相対価値・絶対価値の評価	◎			76 A		
22	B	商工会の活用 (具体的課題の検討・解決)	地域資源の認定・PR		◎		77 C		
			費用対効果の検討		◎		78 A		
			新規の施設などは「加東市」「加東」「かとう」を冠することを原則とする		◎		79 A		
			基本方針を実現する	23	C	行政関係団体の活用 (具体的課題の検討・解決)			
基本方針を実現する	24	C	地域資源の再評価とPR強化						
基本方針を実現する	25	A	「加東市」表示の施設増加						

4. 第2ステップ実施項目と層別

第2ステップを推進するに当たり、表2に示すマトリクスにて実施内容を層別しました。
(平成25年度と同様)

層別の要因は以下の2点としました。

- ・横の要素＝実施内容の規模での分類：小規模・大規模
- ・縦の要素＝対象期間での分類：短期・長期

表2. 実施内容の層別マトリクス

	小規模	大規模
	A1・A2	B1・B2
短期：主に第2ステップ	A1・B1：平成25年度実践項目	
	A2・B2：平成26年度実践項目	
長期：主に第3ステップ	C	D
	C、D：基本計画の策定と実施・実践の判断を第2ステップで行う	

表3に実施項目の層別結果を示します。

層別の結果、A1・B1は主に平成25年度実践項目として推進しました。A2・B2は平成26年度実践項目と位置づけて推進しています。

表3. 第2ステップ実施内容の層別

基本方針	基本施策	シート 番号	重点施策	実施内容		第2 ステップ	NO.	分類
工業の更なる発展を支援する	企業立地の支援	01	新規立地支援	現有工業団地への新規立地支援	本社機能を有する地元・近隣企業の移転推進	◎	1	C
					立地するメリットの付加検討	→◎	2	A2
		02	地域内企業の育成	福利厚生支援の推進		◎	5	C
				創業、経営革新、第二創業、事業承継の促進		→◎	6	A1
				交流の「場」提供		◎	7	A1
		03	市内立地企業の情報発信支援	工場見学を積極的に受け入れる体制づくり:産業ツーリズムの窓口を作る		◎	11	A1
				情報発信支援の推進		◎	12	A2
	産業クラスターの構築	04	産業クラスター施策の企画立案	〈小規模〉産業クラスター計画の作成	＜第3ステージ＞ネットワーク形成	◎	15	C
	企業間交流と連携支援	05	工業団地内〈間〉情報交換の支援	ネットワーク作り		◎	19	A1
				企業への地域情報発信		◎	21	A1
商業の衰退に歯止めをかける	市内購買力の向上支援	07	市内循環型消費システム施策の企画立案	商品券〈プレミアム商品券を含む〉発行の検討		→◎	26	A1
				大規模商業施設の周辺開発を含めた都市計画策定		◎	29	D:実行
		08	大規模商業施設の販売力向上支援	国道175、372号線の交差点活用検討		◎	30	D
				商店街の各個店の魅力度アップ策の推進		→◎	32	A1
	地域ブランド商品のPR強化と開発支援	10	山田錦のPR強化	加東市内外への定期的な情報発信策の検討		◎	35	A1
		11	地域ブランド商品の開発	加東市ブランド商品の認定の推進		◎	36	B2
				商工会グルメプロジェクトの成果活用:平成23～25年度事業		→◎	37	A1
		12	「加東伝の助」商品の強化	商品開発支援		◎	40	A1
	観光業の強化	13	日帰りリピーター客向けツアーの強化	ゴルファー向けツアー開発の検討		→◎	43	A1
				女性向けツアーの開発の検討		◎	45	A1
				日帰り温泉施設の活用推進		→◎	47	A1
		14	交流人口増加施策の構築	食をコンセプトとした地域活性化		◎	50	A1
				地域の文化を活用した体験型観光の開発		◎	51	A2
				高速道路を軸とした広域連携		◎	52	B1
				観光施設の魅力度アップ策の検討		◎	54	A1
				観光協会の強化策の検討		◎	55	A1
人口4万人を維持する	地元雇用の確保	15	求職者への情報提供支援	就労支援室の情報発信力の強化		→◎	56	A1
		16	インターンシップ制度の構築	インターンシップ制度の構築		◎	60	A1
	流入人口獲得と流出人口抑制	17	自然災害の少なさ・「加東暮らし」の良さPR	きっかけづくり:短期滞在型交流事業の検討		◎	61	B2
				滞在型から定住化へ		◎	62	B2
				定住化施策の展開		◎	63	B2
基本方針を実現する	民間を主体とする活性化への支援	21	中核リーダーの育成支援	青年部の組織強化と情報発信力強化		→◎	68	A1
	行政・商工会・各種団体・事業者の連携強化	22	商工会の活用 (具体的課題の検討・解決)	個別企業支援:対処療法から体質改善へ(金融、税務支援から経営革新・第二創業へ)の推進		◎	71	A1
		23	行政関係団体の活用 (具体的課題の検討・解決)	地域産業再編支援:従来から地域に存在する事業の集積による市場競争力の強化)の推進		◎	72	D
				ネットワークの高度化・有機化の推進		◎	73	B2
	「加東市」ブランドの強化	24	地域資源の再評価とPR強化	地域資源の認定・PR		◎	77	B2
		25	「加東市」表示の施設増加	費用対効果の検討		◎	78	C
				新規の施設などは「加東市」「加東」「かとう」を冠とすることを原則とする		◎	79	C

第1ステップ:平成24年度
第2ステップ:平成25、26年度
第3ステップ:平成27年度以降

表3 平成25年度 加東市地域経済活性化実施計画・実践 進捗報告書の見方

- ◆実施計画・実践内容の色分けについて
(グレー):市が中心となって行う事業
(ブルー):商工会が中心となって行う事業
(オレンジ):共同で行う事業

- ◆平成25年度上期、下期内容の色分けについて
・赤文字内容:平成25年度で進捗実績のある項目
・黒文字内容:平成25年度で進捗実績のない項目

第2ステップの位置づけ

- ・第1ステップ継続項目の実践
・第2ステップ対象項目の計画実践
平成25年度実践項目
平成25年度計画項目→平成26年度当初予算

B2:計画

事業規模:小規模・大規模
対象期間:短期・長期

	小規模	大規模
	A1・A2	B1・B2
短期	A1・B1:平成25年度実践項目(確定事業)	
	A2・B2:平成25年度計画項目→H26当初予算	
	C	D
長期	C、D:基本計画の策定と実施・実践の判断を第2ステップで行う	

5. 実施計画・実践 第2ステップ進捗報告

◆進捗報告書での表現：実施計画・実践内容の役割分担を次の色分けで示しています。

- ・グレー色の塗りつぶし：市が中心となって行う事業
- ・ブルー色の塗りつぶし：商工会が中心となって行う事業
- ・ピンク色の塗りつぶし：共同で行う事業

表4に第2ステップの実践内容を示します。

表4. 加東市地域経済活性化 第2ステップ実践報告書

作成：2015-3-31

NO.	第2 ステップ	分類	実施計画・実践内容	平成25年度	平成26年度
1	◎	C	◆工業団地と市内企業との情報交換促進	・オンラインかわら版の充実 ・商工会会員企業の参画方法の検討(工業団地と市内企業との交流促進策の検討) ・企業立地誘致の情報発信力強化 BPL(UR企業向け事業用地情報誌)2013年10月号掲載【特別号】 →本年度は周知期間として位置づける	・オンラインかわら版での工業団地企業と市内企業との情報交換機能の強化 工業団地、ゴルフ場、公共施設、商工会会員企業が参画可能なシステムへ改造 →システム確認 運営は平成27年度より開始
5	◎	C			
12	◎	A2			
15	◎	C			
19	◎	A1			
21	◎	A1			
2	→◎	A2	◆上水道費用の助成実施	・上水道大口利用者の優遇制度検討:助成金の導入検討 ・平成26年度実施準備 大口利用者の定義と対象企業のリストアップ 必要予算の算出と確保 ・関係部門との調整	・助成対象企業の手続き指導 対象企業調査結果:14社が該当⇒助成総額:22,093千円 ・個別訪問による説明と申請手続き 上期:10社申請完了 下期:4社申請完了 ・企業の経費削減に寄与し、企業の立地継続への意識付けとなる効果
6	→◎	A1	◆経営革新プログラムの実施	・「経営革新」承認支援プログラムの実施(年2回実施) ・経営革新承認申請書の作成支援(23社 内承認 12社) ・「経営革新」取得事業者の融資(1件)	・「経営革新」承認支援プログラムの実施(年1回実施) ・経営革新承認申請書の作成支援(14社 内承認 12社) ・「経営革新」取得事業者の計画推進の支援(国・県の補助金の申請指導を含む) ・「経営革新」取得事業者の融資(1件)
			◆創業支援(第二創業)の実施	・創業支援(第二創業)相談指導(24件) ・国県各種助成金・補助金の申請対応(5件) 創業補助金申請支援(2件 内採択 0件) 女性起業家補助金申請支援(3件 内採択 1件)→開業1件 ・起業家支援セミナー(平成25年10月21日、23日)の開催(参加者9名) ・創業補助金等の情報発信	・創業支援(第二創業)相談指導(24件) ・国県各種助成金・補助金の申請対応(8件) 創業補助金申請支援(4件 内採択 1件)→平成27年4月開業予定 女性起業家補助金申請支援(3件 内採択 1件)→開業1件 商店街新規出店補助金申請支援(1件 内採択1件)→開業1件 ・創業事業者の進捗把握→H27年度開業予定3件
7	◎	A1	◆関東加東応援団の活性化	・関東加東応援団との連携強化 交流会の促進:ビジネスマッチングの実践 →ニーズおよびシーズでマッチングする項目がほとんど無い ・ふるさと納税の強化 提供商品の発掘、生産者の自己PR	・関東加東応援団総会の開催(5月31日) ・ふるさと農産物販売(総会アンケートによる要請、2ヶ月毎にチラシを配布する) ・忠臣蔵展における「ふるさと加東」のPR
72	◎	B2			
73	◎	B2	◆行政・商工会・事業者の連携強化		
11	◎	A1	◆「山田錦」産地のPR強化	・山田錦乾杯まつり(旧:名月名曲名酒の会)の実施⇒9月15日(日)に実施 会場:にぎわいプラザ ・ラジオ関西との連携 加東市内観光ツアーを開催:朝光寺(本堂が国宝、鐘楼が重要文化財) →道の駅東条への案内:お土産物の購入 ・福祉施設での田植、稲刈り⇒酒造メーカーでの醸造 乾杯グラス、命名、ラベル作り	・産地PR:「山田錦乾杯まつり」と「山田錦探訪ウォーク」を9月に開催 収穫直前の山田錦を自然の中で見て、感じて、そして、酒蔵との交流にて日本酒の良さを体感 ・就農体験を通じた酒米山地PR 知的障害者施設「でんでん虫の家」、酒蔵(剣菱酒造)と環境調査等ボランティアによる 田植え・稲刈り作業を実施 収穫した酒米を用いて日本酒の製造を開始し(凸版印刷ラベル作成支援)目標2,000本をほぼ完売 引き続きの販路拡大等の確保が重要
35	◎	A1			
23	◎	B2	◆異業種交流会事業の推進	・新組織の体制づくり ・役員の選任 ・新組織の発足 ・6次産業化キックオフセミナーの開催(平成26年3月14日)(参加者31名)	・加東市異業種交流会設立総会の開催(6月7日) ・役員会の開催(3回) ・会員交流会の開催(2回) ・県外広域交流研修(平成26年11月14日～15日) ・県内広域交流研修(平成27年2月25日)
26	→◎	A1	◆地域循環型経済＝商品券発行の検討	・検討の結果＝第2ステップでは実施せず ・三木市吉川町での取り組みを分析	・『多可町の得とくパッケージ』(多可町商工会独自予算)実施情報収集 ・平成27年度実施予定(第3ステップ)
29	◎	B2 D	◆新道の駅構想の具現化	・新道の駅(新商業ゾーン)とBio(既存商業ゾーン)とのマッチング施策の検討 ・平成25年度国道175・372号交差点周辺活性化基本計画策定支援業務委託 公募型企画提案競技の実施 事業者決定(12月)⇒㈱地域計画建築研究所(アルパック) 関係部門ヒアリング ※平成26年6月完了予定	・平成25年度国道175・372号交差点周辺活性化基本計画策定期日の延期:6月⇒12月 ・基本方針の見直し 国道175・372号交差点付近での一体型道の駅の創設から、Bioを中心としたまちの拠点づくりへ変更 国の進める「ひと・まち・しごと創生＝地方創生」等に対応した内容:補助金の活用 ・中心市街地等活性化コンソーシアム(仮称)の設置準備:人材確保
30	◎	D			
52	◎	B1			
32	→◎	A1	◆商業ゾーンの充実	・中小企業基盤整備機構の商業活性化アドバイザー派遣(2回) ・Bioの活性化策検討会議(5回)	・Bio専門店会各個店の魅力度アップ策検討 Bio専門店会理事会(12回) ・ポイント交換を促進するためのクリスマスイベントの実施(平成26年12月20日～23日)
		A1	商店街の各個店の販売力強化	・カード会(伝の助カード)役員会の開催(12回) ・伝の助カード活性化事業計画の策定 ・加盟店情報交換会の開催(平成25年6月7日、3月19日) ・共同チラシ発行(平成25年6月13日) ・伝の助スタンプラリーカード発行(平成25年7月18日) ・カードの特性を活かしたイベントの開催(平成25年11月9日、12月14日)	・カード会(伝の助カード)役員会の開催(11回) ・加盟店情報交換会の開催(平成26年8月5日) ・共同チラシ発行(平成26年6月12日、平成27年3月19日) ・Wチャンスセール開催(平成26年7月17日～7月31日) ・ポイント刷新キャンペーン事業『お買物券交換抽選会』の開催(平成26年8月31日) →にぎわい補助金事業 ・伝の助ビックリ交換会の開催(平成26年12月14日) ・教育助成事業開始(平成26年9月1日)

		B2	◆学生チャレンジショップの開店	【学生チャレンジショップの開店は平成26年度に実施】	・店舗レイアウト、商品構成の検討会(7回) ・メニューの検討(焼菓子、ジャム 等) ・チャレンジショップオープン(平成26年12月20日・21日、平成27年1月31日、2月8日、3月28日) ・ラッピング講習会(平成26年12月10日、16日) ・接客セミナー(平成27年1月28日) ・各メディアへのPRの実施(神戸新聞に計4回掲載された)
36	◎	B2	◆地域資源の活用とブランドの確立	・地域資源の洗い出し:加東市観光ボランティアの会との連携⇒加東市西部地区 第1回ディスカバー加東の実施:市民向けツアーの実施(2月20日、2月27日、3月6日) 播中公園、滝野温泉ほかぼとの連携 ・加東遺産の紹介:加東市観光情報サイトKIZUNAでの連載 ・加東四国八十八ヶ所霊場の研究 大正7年から戦前までの歴史(経緯)と霊場(場所)の調査検討	・加東四国八十八ヶ所霊場の活用＝平成の加東四国八十八ヶ所霊場めぐり 霊場(寺、お堂)の場所確認と地図への表記 和讃、御詠歌の調査 開設から100年(2018年)に向けての事業計画の策定⇒本年度は巡拝マップの作成 ・第2回ディスカバー加東の準備 加東四国八十八ヶ所霊場めぐりのバスツアーの企画策定⇒東条側に沿ったルートの確認
45	◎	A1			
51	◎	A2			
77	◎	B2			
37	→◎	A1	◆ひょうご「まちおこし」支援事業の活用	・「加東こだわりグルメ」ブランド推進委員会の開催(4回) ・イベントにて三草茶うどんを販売 (12回・売上406,000円) ・各メディアへのPRの実施 ・兵教大付属中学校の中学3年生を対象としたアントレプレナー学習において 「加東うまいもんグルメ事業」を紹介(9月25日) ・加東うまいもんグルメ取扱店MAPの作成	・イベントにて三草茶うどんを販売 (14回・売上1,428,000円) ・第3回ご当地グルメ甲子園in八幡浜2015に出店(社高校) ・各メディアへのPRの実施
40	◎	A1			
50	→◎	A1			
43	◎	A1	◆ゴルフ振興事業の検討	・ジュニア会員ゴルフレッスン会の実施(毎週土曜日) ・加東市ジュニアゴルフ大会の実施(2回) ・加東市民ゴルフ大会(3回) ・ゴルフ場PR利用促進事業の実施(スリースタンプカード)の発行 ・ファミリーオープンゴルフ大会(平成25年8月17日)の開催 ・マイナビABC協賛事業の実施(平成25年10月31日～11月1日) ・ミニコミ誌に掲載(3月) ・加東市ゴルフ協会の会報発行(3月)	・ジュニア会員ゴルフレッスン会の実施(毎週土曜日) ・加東市ジュニアゴルフ大会の実施(2回) ・加東市民ゴルフ大会(3回) ・ゴルフ場PR利用促進事業の実施(スリースタンプカード)の発行 ・ファミリーオープンゴルフ大会(平成26年8月16日)の開催 ・マイナビABC協賛事業の実施(10月28日～11月2日)
			◆ゴルフ場の経営支援	・ゴルフ人口増加につながる事業の検討 支配人会での事業検討 ・経営支援の施策検討	・プロゴルフトーナメント支援:加東市PRとゴルフ振興ボランティア育成(21名) ①ステップアップツアー(7月:ABCゴルフ倶楽部) ②コニカミノルタ女子プロ選手権(9月:美奈木ゴルフ倶楽部) ③マイナビABCチャンピオンシップ(11月:ABCゴルフ倶楽部) ・経営支援体制:岐阜県瑞浪市ゴルフ経営者交流会(1月)及び集客企画プレゼン(3月:高砂商工会議所)
47	◎	A1	◆滝野温泉ほかぼ活性化プロジェクト ～経営計画実行～	・滝野温泉ほかぼ活性化プロジェクト会議(4回) ・基本計画策定小委員会(3回)、経営計画策定小委員会(4回)、新商品開発検討小委員会(5回) ・先進地「よふど温泉」視察(第2回滝野温泉ほかぼ活性化プロジェクト会議) ・来館者調査(計4日間 平日101名、休日129名 計230名にアンケート調査)の実施 ・事務局連絡会議(1回) ・地域資源認定申請・採択 ・ポスター製作審査会(1回)→製作 ・ディスカバー加東でのPR:バスツアーの実施(3回)	・経営計画実行委員会の開催(2回) ・企業会計導入支援チーム会議(5回) ・商品計画改善支援チーム会議(5回) ・組織活性化支援チーム会議(5回) ・副委員長チームリーダー連絡会議(2回) ・報告書の作成
54	→◎	A1	◆やしろ鴨川の郷経営改善	・レストラン事業者の交代⇒請負業者の募集と選定 ・委託事業の業績改善につながる施策の検討 地域振興課の管理する指定管理事業者との連絡会開催検討 経営情報交換、施設関連系 ・清水東条湖立杭観光ゾーンの復活検討:PRの場として活用する ・産学連携インターンシップ事業の対象施設に設定⇒結果の活用の検討	・地域振興課管轄の指定管理施設経営者連絡会の企画と開催(6月16日開催) 運営のノウハウと課題、解決策情報の交換を実施 ・指定管理応募時のグループ応募を可能とする ⇒ジョイントベンチャー的運営体制と経営 やしろ鴨川の郷の事業分割例:管理事務、レストラン、施設管理(リネン含む)、メンテナンス、警備等 ・レストラン運営事業者の決定と再開 指定管理事業の立て直し(宿泊、テニス等)
55	→◎	A1	◆観光協会の自立支援	・観光協会を任意団体から法人化(一般社団法人)するための準備:定款、役員、予算等 職員雇用:下期より事務職1名を雇用 来季より事務局長を雇用予定 運営体制などの検討 ・観光ボランティアの会との連携によるきめ細かなガイド 土日祝での常駐ガイド試行:道の駅とうじょう(上期のみ)、朝光寺(継続実施)	・民間経営意識の導入:企業会計導入による資金管理の徹底を図る ・活動委員会組織の再編 ⇒企画事業内容と資金を連動させるため、企画委員会と総務委員会の開催方法を合同とした 事業別バランスシートの作成義務 ・早期事務局体制整備:次年度体制整備に向け、職員1名増体制を確立する。(3月人材確保)
56	→◎	A1	◆就労支援室の強化	・就労支援室の情報発信力の強化 相談件数(481件) ・関係機関との情報共有化の強化 社会福祉部連携相談者数(119件) ・市内事業所への巡回の強化 市内事業所巡回(1,081件)	・就労支援室の情報発信力の強化:相談件数(521件) ・関係機関との情報共有化の強化:社会福祉部連携相談者数(42件) ・市内事業所への巡回の強化:市内事業所巡回(1,179件) ・外部発信の強化 就労支援室の案内チラシを加東市広報に差込配布済(平成26年8月号) 文字放送を利用し就労支援室のPRを実施(平成26年8月11日～8月24日) 就労支援室のポスター及び行き方を加東市くらしの相談コーナーに掲示(平成26年7月22日開始) 各関係施設のポスター及びチラシの設置(公民館3ヶ所、児童館3ヶ所、図書館4ヶ所) インターネット回線を利用した、ハローワーク求人情報の提供(平成26年9月1日開始) 就労支援室の案内を加東市商工会報に掲載配布(平成26年8月号、平成27年1月号)
				【タワージャズ関連の再就職支援は平成26年度に実施】	・タワージャズジャパン社員再就職支援:現在も活動は継続中であるが、7企業15名の採用を得た 企業が求める中途採用者の雇用年齢制限希望が35歳までとなっている場合が多い 引き続き、個人経歴等セールスポイントの充実を図り、再就職率100%を目指す
			◆景況調査の実施	【工業団地および商工会会員企業を対象とした景況調査は平成26年度に実施】	【加東市の景況調査総括】工業団地企業と商工会会員企業の集計結果 ・加東市内企業は、景況の底を打ち回復局面に入っているが、団地企業がV字的な回復の兆しが見える のに対し、会員企業はDI値が全項目マイナスを継続しており、景況の回復感は見られない。 ・団地企業の景況感は改善しているものの、収益だけがマイナスであり、見通しは厳しい状況が続いて いる。 ・加東市内企業においても大企業に偏った景況の改善が図られていることが明確となり、会員企業の景 況感を底上げする施策をさらに強化することが必要である。

60	◎	A1	◆インターンシップ制度の継続(2年目)	・産学連携インターンシップ事業 - 受け入れ企業への説明会(平成25年8月2日) - 就業体験・経営現状調査(インターンシップ)実施(平成25年9月9日～13日) - 受け入れ企業(7社)、参加学生数(34名) - 開校式(平成25年9月9日)、中間報告会(平成25年9月13日) ・産学連携インターンシップ事業報告会の開催(平成26年1月25日) ・報告書の作成(平成26年3月)	・前年度受入企業フォロー・ヒアリング(平成26年5月1日～5月12日) ・産学連携インターンシップ事業 - 受け入れ企業への説明会(平成26年8月28日) - 就業体験・経営現状調査(インターンシップ)実施(平成26年9月8日～12日) - 受け入れ企業(7社)、参加学生数(35名) - 開校式(平成26年9月8日)、中間報告会(平成26年9月12日)、報告書の作成(平成27年3月) ・産学連携インターンシップ事業報告会の開催(平成27年1月24日)
61	◎	B2	◆人口4万人維持策の検討	・市内の特別指定区域PR ・インターパーク(南山)のまちづくり支援策の検討:企業と住民のニーズ調査 ・雇用の確保:三田市、URと雇用に関する企業情報の収集を共同で実施(12月)	・南山まちづくり計画 ⇒児童館建設計画等企業誘致と南山街づくり計画が網羅された計画策定は進んでいない ・南山地区での住民と企業の交流機会促進:コミュニティーの核づくりとしてのイベント実施 - 共同作品手造り鯉のぼり掲揚(4月～5月) - お餅つき大会(主催:富田興業(株)と南山自治会で総勢200人規模)
62	◎	B2			
63	◎	B2			
64	◎	B1			
68	→◎	A1	◆中核リーダーの育成支援	・青年部で開発した特産品を協賛事業「加東市花火大会」にて - 販売、案内チラシの配布(平成25年8月7日) ・協賛事業「秋のフェスティバル」で青年部特産品の販売(平成25年11月2日、3日) ・「加東市福祉と絆のつどい」協賛事業(平成25年11月30日) ・「あったか加東冬のまつり」協賛事業(平成26年2月9日) ・6次産業化キックオフセミナーの開催(平成26年3月14日)(参加者31名) ・加東市商工会青年部・JAみのり青年部加東支部意見交換会(平成26年3月14日)	・ブライダル事業の実施(婚活イベント4回・婚活セミナー1回) ・「加東市花火大会」協賛事業(平成26年8月6日):無料給水所 ・秋のフェスティバルの協賛事業の実施(平成26年11月1日・2日):木工コンテスト
71	→◎	A1	◆商工会の活用 (地域産業の活性化に取り組む商工会への補助)	・中小企業会計要領セミナー実施(4回)(参加者計110名) ・消費税アップ対策セミナー実施(平成25年9月17日)(参加者50名) ・消費税転嫁対策窓口相談等事業の実施 ・管理会計セミナー(平成25年10月24日)(参加者28名) ・社長のプレゼンカセミナー(平成25年12月3日)(参加者31名) ・6次産業化キックオフセミナーの開催(平成26年3月14日)(参加者31名) ・初級簿記講習会(全22回)(参加者27名) ・小規模事業者活性化補助金の申請書作成支援(8件内、4件採択) ・ものづくり補助金の申請書作成支援(7件内、4件採択) ・エネルギー合理化補助金の申請書作成支援(2件内、2件採択)	・経営計画作成セミナーの実施(2日間×2回)(参加者計100名) ・経営計画作成のための個別相談会の実施(11回)(参加者計61名) ・消費税転嫁対策POPセミナー(2回)(参加者計72名) ・金融セミナー「経営者保証ガイドライン」(平成26年9月18日)(参加者20名) ・雇用トラブル解決セミナー(平成26年10月29日)(参加者25名) ・金融相談会「一日公庫」(平成26年11月5日)(参加者14名) ・初級簿記講習会(全22回)(参加者32名) ・小規模事業者持続化補助金の申請書作成支援(37件、内35件採択) ・ものづくり補助金の申請書作成支援(12件、内6件採択) ・エネルギー合理化補助金の申請書作成支援(2件、内採択なし)
78	◎	C	◆「加東市」の露出度向上	【第3ステップへ変更】	【第3ステップへ変更】
79	◎	C			

5. 第3ステップ（平成27～29年度）に向けて商工会からの提言

第3ステップの実施内容について、第2ステップからの継続内容（予測）を含めて現時点の案を表5にまとめました。

第3ステップの実施・実践における重要課題は、次の3点に絞ることができると思います。

- ①工業団地の推進：インターパークの完売策と新規工業団地の必要性検討
- ②商業ゾーンの開発：新道の駅を含むまちづくり（商業ゾーン）構想の実現
- ③人口4万人維持策：インターパークのまちづくり構想の実現

各実施内容は、大規模な事業になることが予想され、検討・実施に当たっては、市役所関係部門のノウハウを横断的に引き出すことができ、かつ、対外的交渉に責任と権限を有するプロジェクト体制による推進が必須と考えます。

表5. 第3ステップ実施内容(案)

基本方針	基本施策	シート 番号	重点施策	実施内容	第3 ステップ NO.
工業の更なる発展 を支援する	企業立地の支援	01	新規立地支援	新たな工業団地の開発検討	◎
	産業クラスターの構築	04	産業クラスター 施策の企画立案	(小規模)産業クラスター計画の作成	◎
	企業間交流と連携支援	05	工業団地内(間)情報交換の支援	自主運営への移行	◎
		07	市内循環型消費システム施策の 企画立案	企業間情報交換による新規事業、商品開発支援	◎
商業の衰退に歯止め をかける	市内購買力の向上支援	08	大規模商業施設の販売力向上支援	大規模商業施設の周辺開発を含めた都市計画策定	⇒◎
	地域ブランド商品のPR強化と 開発支援	11	地域ブランド商品の開発	国道175、372号線の交差点活用検討	⇒◎
	観光業の強化	14	交流人口増加施策の構築	JAPANブランド戦略の検討	◎
				高速道路を軸とした広域連携	⇒◎
人口4万人を維持する	流入人口獲得と 流出人口抑制	17	自然災害の少なさ、 「加東暮らし」の良さPR	ぎっかけづくり:短期滞在型交流事業の検討	⇒◎
				滞在型から定住化へ	⇒◎
				定住化施策の展開	⇒◎
		18	雇用と魅力あるまちづくりビジョンの策定	雇用と魅力あるまちづくりビジョン	◎
基本方針を実現する	行政・商工会・各種団体・ 事業者の連携強化	23	商工会の活用 (具体的課題の検討・解決)	インキュベート・シンクタンク機能の発揮	◎
		24	地域資源の再評価とPR強化	地域資源の認定・PR	⇒◎
				費用対効果の検討	⇒◎
	「加東市」ブランドの強化	25	「加東市」表示の施設増加	新規の施設などは「加東市」「加東」「かとう」を冠することを原則とする	⇒◎

朱記項目:重点フォロー項目

第1ステップ:平成24年度
第2ステップ:平成25、26年度
第3ステップ:平成27年度以降

⇒◎ : 第2ステップからの継続

は行政
は商工会
は共同